

高等学校（1年生）
2月
再試行できない課題解決

今までの活動に比べて、より教科の内容や日常に近い課題である。材料は一度渡すだけなので、作業に入る前に十分な検討を要する。再試行の許されない課題への対処方法を学ぶ。

活動の実際

< AHA体験 > いないいないばあ	
準備物	なし
活 動 内 容	支援及び留意点
①両の手のひらを組んで、組んだまま手首を内側に回す。 ②人差し指を鼻の両脇に置いて、手を組みほどく。 ③両手が重ならず、広がるはず。	○実際にやりながら、やり方をまねてもらう。 ○広がらない人は、指の組み方を変えてみる。
< 発展 > ○広がった人は、広がらない方法を考える。	
< ふりかえりの視点 > ○なかなかできない時、どんなことを感じた？ ○うまくできた時、どんなことを感じた？	
< 比喻（メタファー） > ○方法に変化を持たせ、いろいろな方法で挑戦する。	

スペースシャトル	
課 題	スペースシャトルを軟着陸させること。
準備物	卵、ストロー（10本）、フライパン、セロテープ（150cm程度）
活 動 内 容	支援及び留意点
①5人組に分ける。 ②各グループは卵（スペースシャトル）の着陸準備をする。 ③グループごとに、フライパン（地球）に高さ50cmから落下させる。 ④卵が割れなければ着陸成功。	○卵を使うことで緊張感が出る。 ○やり直しがきかない設定なので事前によく作戦を立てる。 ○割れた卵の処理も事前に考えておく。



宇宙人の卵

課 題 宇宙人の卵を危険のない状態にすること。

準備物 各組に、ゴルフボール、新聞紙、セロテープ（150cm程度）

活 動 内 容

支援及び留意点

- ① 5人組になる。
- ② 「宇宙人の卵（ゴルフボール）を塔（新聞紙）の上に乗せ、高さ50cm以上で維持しないと、未知の伝染病が広がってしまいます。」
- ③ 各グループができあがったら、1つずつ他のグループの4人は吹いてみる。
- ④ 風速4mの突風（4人で吹く）に耐えられれば成功。

- グループによっていろいろな塔ができあがる。
- セロテープ、新聞紙は追加しないので、始めによく作戦を立てる。
- 不成功の場合、再挑戦させるかどうか。

<ふりかえりの視点>

- どうやって作戦を決めた？
- 自分はどんなふうにかかわった？